

荒木 あけみ

THE 花咲かせ TIMES

第一号
2011.2.25
荒木あけみ後援会
会長 竹田青司
函館市松風町 15-6



荒木あけみ、決意と想いを述べる ～後援会事務所開き～

荒木(旧姓鍵山)あけみのニュースレターです。お読みいただきまして、有難うございます。

応援メッセージ

誰もが未来に夢や計画をもてる事は生きるエネルギーそのものだ。それを主張し行動する荒木あけみさんと私は一年前に出会った。若い行動力、そこを支える豊富な経験を知り、各世代が手をつなぎ応援していきたい人だと確信を持った。心からのエールを送りたい。

浜中範子
(高校・短大講師)

ダンボール箱での生ゴミ堆肥作りや重曹を使った家事にも取り組む荒木さん。必ず函館の環境を守る議員になると期待しています。

中西弘子
(ゴミ土楽の会事務局長)

去る2月5日土曜日、函館市松風町にて、午前10時30分から荒木あけみ後援会の事務所開きを開催いたしました。

お陰様で、約40名もの幅広い年代の方々にお集まりいただき、盛大に執り行うことができました。

ご参加いただいた方はもとより、ご支援、ご協力いただいている皆様には、この場を借りて心より御礼申し上げます。

当日は、荒木あけみの小・中学校の同級生でもある事務局長が司会進行を務める中、後援会長美容室ルーディー代表 竹田青司による挨拶に始まりました。続いて、荒木の遺愛高同期生の母であり、同校の先輩でもある尾形久美子様から応援メッセージを頂戴しました。



そして、函館市議会議員 竹花いくこより応援演説、荒木あけみ本人の決意表明と続きました。荒木は、生まれ育った函館に戻るまでの経緯、竹花市議との出会い、立起を決意した二つの理由、実現したいこと(抜粋は右下参照)を語り、訴えました。

そのほかにも、こどもたちから荒木へのライオン首飾り贈呈や新川中学校の同級生からの応援メッセージなどがありました。

後援会事務所としては珍しい、靴を脱いであがるスタイルには戸惑われた方がいらしたかもしれません。事務所内に設けた「キッズコーナー」は日本初!?こちら珍しいものの、微笑ましい・荒木らしいと好評でした。

キッズコーナーで3名のちびっこが遊び、きてくださった大人の方がそこに入って面倒を見ている様子はとてもほほえましく、こういった風景こそ、私たちが守るべきものなのだと再認識させられました。

全員で「花咲かせよう」のポーズ



最後には後援会長の発声による「花咲かせよう」コールで締めました。荒木の想いが、また応援している方々の想いが伝わり、支援の輪が大きく広がった記念の日となりました。皆様方の応援で、事務局も大きな勇気を得た一日でした。

荒木あけみ決意表明
(事務所開きでお話した「実現したい3つのこと」から1つ目のみ)

「私荒木あけみが議員になってやりたいことは大きく分けて3つあります。

一つ目は、仕事を創るということです。同級生や知人の話を聞くと、女性は一旦仕事を辞めてしまうと職種への復帰ができて、働きたくても働く場がない、とのこと。いいときの函館を知っている方は、その良かった時代の経済の復活を目指していますが、私は国際的経済状況からみて経済規模は拡大しないと感じています。一家の主が家族を養い、給料も右肩あがりという状況に復活するのは厳しい、と。



応援メッセージ

女性の就労支援に全力で取り組み！女性が働く場所を得ることで必ず函館の景気は良くなると思う。

三国大介
(新川中学校
同期生)

函館を若い力で新しい風を吹き込んでください。たくさんの夢、叶えてください。

Y. I.
(はばたきの会)

戦後の日本は、とにかく先進国においてという目標をもって企業も個人営業主も官僚も頑張ってきました。上を目指す状況ではそれでも良かったのです。しかし、不況が続き、近隣諸国の台頭も激しく経済大国の地位も低下している今、上を目指しても簡単になれなくなってしまいました。良かった時代しか知らなかった方にとってはなかなか軌道修正するのが難しいかもしれません。新しい価値観を受け入れにくいかもしれません。

またマーケティングという視点では、これからの企業には社会起業的、社会貢献的な大義がないと継続的な発展は厳しい、という見方になっています。

そこで、私が提案するのは、女性や若者がチャレンジしやすいビジネスを創るということです。新規で新しい商品を買う方は減っていても、あるものをリフォームしたり手直ししたりするビジネスは伸びる余地があります。函館にもすでにたくさんの資源や財産があるので、それを仕事に仕組みを作りたいと思います。男性が家族を養う重荷を背負うことはありません。結婚するには給料が安くて養えないと考えている男性も養うという発想を捨てて、女性も一緒に働けばよいと思うのです。そのためには女性の労働条件の改善も平行してやるべきことです。



また、地球が悲鳴をあげている今、これ以上地球に負担をかけるようなことはできません。未来の子どもたちが函館はおろか日本、いや世界にも住めないような環境になる可能性もおおいにあります。環境に配慮したビジネス、これも重要です。そして、新しい価値を提供するビジネス。すでにどこかでやっていることの焼き直しでは売れません。他地域がやっていることの真似事も一時的にははやってもすぐ下火になります。函館が持っている力を活かした独自のアイディアによるビジネスを展開できるようにしたいです。またすでに素敵なアイディアをもって事業を行っている方々も函館にたくさんいらっしゃいます。その方々がもっとお仕事をやりやすくなるような仕組みも作りたいと思います。

※実現したいことの2つ目は次ページ、3つ目は次号以降でご紹介いたします。



荒木あけみ後援会事務所のご案内

【荒木あけみ後援会事務所】
〒040-0035 函館市松風町 15-6
(成田山函館別院のとなり)
TEL : 0138-26-8739
FAX : 0138-26-8787
E-mail : info@arakiakemi.jp
HP : <http://www.arakiakemi.jp/>

「平日10～17時まで開いています。どうぞお近くにお越しの際はお顔を見せてください。少し離れることもありますので事前にお電話いただけると幸いです」

「今の時期はこたつもある事務所です。こたつを片付ける時期が待ち遠しいです（早く暖かくなってほしいですね）」

「事務所にお越しいただくと荒木あけみのことがもっとよくお分かりいただけます。はばたきの会のちらしやニュースレター、過去の文集や卒業アルバムも！？どうぞ、あらゆる荒木あけみを知ってください。」

「入ってすぐ右には桜の花に書応援メッセージが掲示されています。みなさまもお越しの際は一筆書いてくださいませ！」

「奥には、荒木あけみのイラストを色々貼っています。現在4名の方が描かれたものを掲示中。どんどん増えるといいなと思います。ぜひ荒木あけみ（イメージも可）を描いてお送りください。」

後援会事務所では、専従スタッフの千葉由香子が皆様のお越しをお待ちしております。





街頭演説

荒木あけみは、函館駅前、および事務所前で街頭演説を行っています。

相棒は、拡声器と旗。

7～8kgある拡声器を肩から担ぎ、旗を立てながら「思い」を訴えています。

歩いている方、電車・バスを待っている方、車を運転（信号待ち）している方、一体何だろう？と思っただけで見てくださいます。

竹花市議からお借りした旗には、
「市民が決める時代」
「市民が主役の時代」
と書いてあります。

無所属・市民派として、「市民が主体である」ことを伝えていきたいと考えています。

初の街頭演説（函館駅前）



みんなちがってみんないい

（実現したい3つのこと（2つ目））事務所開き 決意表明より

やりたいことの二つ目は、これは竹花さんの想いの継承です。価値観の多様化と少数派や弱者に対する差別の反対です。この10年で平均所得の半分以下の所得の人たち（＝貧困層）が2倍に増えました。勝ち組、負け組、格差社会が進んでいます。我々の世代が60代を迎えたときに年金はもらえるのだろうか、一握りの富裕層以外はみな貧困層になるのではないかと、というくらい将来へ明るい見通しがもてません。何を言っても変わらないよという諦めや無関心になって選挙に行くのをやめたり、政治家に誰がなっても同じ、となってしまうとは、ますます何も変わらず一部の利害だけが優先されます。その中であって、竹花さんが3期12年間いちどもぶれずに無所属・市民派として通された信念を絶やさすわけにはいきません。何とか1議席確保して無所属・市民派として、男女共同参画の推進、少数派・弱者の声を届ける役目を担いたいと思います。

俳句をいただく

保村俊さんより、荒木あけみへの「俳句」を頂戴いたしました。

荒海へ 木遣りひびけと 舵を切る 俊岳

自分が題材になった俳句を初めていただいた荒木はとても喜んでおりました。8議席減の厳しい状況の中、まさに「荒海」に出た荒木を後押ししてくれるような、そんな力強い俳句に感激です。たとえ厳しい状況でも志を胸に、大きく出航したい荒木を私たちも支援していきたいと思えます。

早速、事務所に掲示させていただきましたが、こちらがまた達筆なのです！

左の写真では見にくいと思いますので、ぜひ、事務所にお立ち寄りの際には短冊に書かれた俳句をご覧ください。

荒木あけみへの「俳句」を頂戴いたしました。



荒木あけみ後援会事務局からのお願いです

1. 花咲かせたい名簿

“荒木あけみ”を応援してくれる方に加えて、応援してくれそうな方、リーフレットを読んでほしい方（函館在住）をご紹介ください！その方の近くに行ったときは、ご自宅におうかがいします。

函館にUターンしたばかりで、皆様からの名簿が頼りです。告示まであと50日程度しかありません。1枚すべての人数が埋まらなくても結構です。ぜひご支援よろしくお願ひいたします。

2. 立て看板

後援会事務所前を筆頭に、徐々に立ち始めています（松風町、大手町、杉並町、亀田港町、日吉町、上野町、本町等）。

ですが、まだ立て看板を設置してもよいという場所を探しております。そのような場所がございましたらお知らせください。

3. お茶懇談会

ご近所の方やご友人の方とお話する機会をください！

2～3人集まって楽しくおしゃべりする、そのような機会に呼んでいただけますか。

皆様の日々の生活や市政に対するご意見をぜひ伺わせてください。そして荒木あけみの想いや目指すことを10分程度お話しさせていただければと思います。

同様に、所属している団体、サークルなどに呼んでご紹介いただく機会がございましたら、ぜひお願ひいたします！

4. 事務所ボランティア

すでに宛名書き等でお手伝いいただいている方もいらっしゃると思いますが、これから3～4月にかけて、どんどん色々なことが出てきます。

専従スタッフ1名ではまかなえないことも多く、ぜひ事務的な作業のボランティアいただける方がいらっしゃいましたら、よろしくお願ひいたします。

事務所に来るのはできないが、自宅でも何かできる、という方もお知らせいただければと思います。

5. 500円カンパ

荒木あけみはいずれの政党にも所属しない無所属・市民派であるため、あらゆる活動は本人の資金と個人寄附（カンパ）によって支えられています。

荒木あけみの政策・理念を広く普及させるには、媒体の作成・管理、看板や印刷物、郵便経費等が発生します。そのため、個人寄附は貴重な支援方法の一つです。

あくまで市民派の選挙で取り組みます。一口500円という形で、カンパを募っております。ご協力いただける方は後援会事務局までご連絡ください。



若者から風を起こすために

竹花いくこ市議は「超高齢社会を支える今の30～40代を応援したい」という強い想いを持って、荒木を応援しています。

荒木あけみは「函館に住む高齢者、同世代、若者、こどもたち皆が“函館で暮らして幸せだ”と思えるよう、私たち働く世代が政治にも参画していこう」という想いを行動に移しました。

荒木あけみ後援会事務局は、30～40代が中心になって運営しています。事務局長はじめ、それぞれがその得意分野を生かして、看板設置、名簿集め、ニュースレターの作成等について、仕事をしながら行っています。皆選挙については素人集団です。竹花市議の支援者の方に教わりながら、無所属・市民派で買っています。この輪が徐々に広がり始めています。小さな動きが大きくなうねりになるように、お読みいただいた皆様にも一緒に活動いただきたいと思っています。そして、これまでのご経験等をぜひ教えてください。市民派選挙のノウハウを繋いでいくことも大切なことだと考えています。

あなたから風を起こしてください あなたの風を未来へ運びましょう

編集後記

「THE 花咲かせ TIMES」第一号です。荒木あけみの熱い想いが皆様が届いたでしょうか。ここに始まる小さな羽ばたきは、皆様方と手を繋ぎ、大きな風となり、未来を動かします。一人でも多くの方と手を繋ぎたいのです。あなたも一緒に羽ばたきましょう！（う）

